令和４年11月２日から30日にかけて

令和４年度「村政懇談会」を開催しました

今年度の村政懇談会では、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮するとともに、参加者全員からご意見がいただけるよう参加人数を絞り実施しました。各地区からは、自治会やそのほかさまざまな団体の代表者が参加し、村と参加者が対話を通して課題などについて共に考えることに重点を置きながら、今後の地域の在り方について意見交換を行いました。参加者の主な意見・提案等は下記のとおりです。

なお、懇談会の内容など詳細は、村公式ホームページをご覧ください。

村松地区	**期日▼**11月2日／**場所▼**村松コミュニティセンター／**参加者▼**10人 ▽自治会等は高齢化が進み、お祭り等のイベントや福祉関係のボランティア活動などへの参加が難しくなりつつある ▽人口減少が進む自治会の現状に合わせて自治会規約を改正した ▽村松地区の“財産”をうまく活用したイベントの開催を企画している ▽高齢者が自治会非会員になると孤独になりがちなため、高齢になっても会員として継続すべき など
真崎地区	**期日▼**11月10日／**場所▼**真崎コミュニティセンター／**参加者▼**15人 ▽自治会の運営には各種団体との連携・協力が必要 ▽自治会は災害時に共助を可能とする組織としたい ▽自治会も含め各種団体の多くは会員の高齢化が課題となっている ▽転入者減少・転出者増加の解決策として魅力ある地域づくりを進める必要がある ▽自治会などの各種団体におけるデジタル化の推進は、若者と自治会をつなげるきっかけになるのではないか など
中丸地区	**期日▼**11月20日／**場所▼**中丸コミュニティセンター／**参加者▼**12人 ▽自治会会員の高齢化により役員の担い手が不足しているため、役員任期を短くするなどして対応 ▽自治会役員に女性を積極的に登用している ▽住民が自治会などに何を望んでいるのか把握する必要がある ▽自治会の新たな試みとして回覧板の代わりにスマートフォンの活用を検討している ▽自治会等それぞれの組織の制度を見直す時期にきている など
石神地区	**期日▼**11月25日／**場所▼**石神コミュニティセンター／**参加者▼**10人 ▽自治会や消防団などのさまざまな組織で役員の担い手が不足している ▽自治会を退会する会員のその後の対応方法が問題 ▽自治会を含め、それぞれの組織の活動を定期的に続けることで、新規加入者の増加へつなげたい ▽価値観の世代間ギャップがある ▽自治会役員の負担感を減らすための取り組みが必要 など
白方地区	**期日▼**11月26日／**場所▼**白方コミュニティセンター／**参加者▼**17人 ▽自治会役員の担い手が不足している ▽自治会加入率が低下している ▽役員へ女性の積極的な登用を検討したい ▽ＩＣＴを活用し自治会役員の負担軽減を図ることは若者の自治会活動への参加のきっかけにつながる ▽地区自治会、単位自治会の役割の整理が必要 ▽自治会を退会する高齢者への対策が必要 ▽資源ごみ立ち合い等の見直しが必要 など
舟石川・船場地区	**期日▼**11月30日／**場所▼**舟石川コミュニティセンター／**参加者▼**10人 ▽自治会役員の担い手が不足している ▽自治会活動への参加者の多くが70歳代であるとともに、参加者数そのものも減少している ▽新型コロナウイルス感染症の流行により活動を縮小している ▽子ども会の活動を通して地域で子どもたちを見守っていきたい ▽自治会に加入できない理由はさまざまである ▽高齢者が住み慣れた地域で安心して住めるようにしたい など

【問い合わせ】村民活動支援課（☎282-1711 内線1461）